

豚肉情勢

11月5日 更新 JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																																																																																																		
供給	1.国産	<p>国内生産量の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">国内出荷頭数</th> <th colspan="2">農水省出荷予測 (千頭:%)</th> </tr> <tr> <th>千頭</th> <th>前年比</th> <th>暦年</th> <th>出荷予測 頭数 前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年</td> <td>16,338</td> <td>98.3</td> <td>R3年 10月</td> <td>1,434 97</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>16,429</td> <td>100.6</td> <td>R3年 11月</td> <td>1,447 100</td> </tr> <tr> <td>R1年</td> <td>16,320</td> <td>99.3</td> <td>R3年 12月</td> <td>1,497 98</td> </tr> <tr> <td>R2年</td> <td>16,686</td> <td>102.2</td> <td>R4年 1月</td> <td>1,418 100</td> </tr> <tr> <td>R3年 6月</td> <td>1,346</td> <td>101.7</td> <td>R4年 2月</td> <td>1,327 99</td> </tr> <tr> <td>R3年 7月</td> <td>1,313</td> <td>96.8</td> <td>R4年 3月</td> <td>1,406 93</td> </tr> <tr> <td>R3年 8月</td> <td>1,326</td> <td>104.4</td> <td colspan="2">※令和3年9月22日更新</td> </tr> <tr> <td>R3年 9月</td> <td>1,389</td> <td>103.1</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>輸入量の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">輸入数量</th> <th colspan="2">財務省:通関実績 チルド数量</th> </tr> <tr> <th>ト</th> <th>前年比</th> <th>ト</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年</td> <td>932,048</td> <td>108.2</td> <td>398,847</td> <td>112.2</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>924,971</td> <td>99.2</td> <td>406,752</td> <td>102.0</td> </tr> <tr> <td>R1年</td> <td>958,963</td> <td>103.7</td> <td>407,360</td> <td>100.1</td> </tr> <tr> <td>R2年</td> <td>891,807</td> <td>93.0</td> <td>416,334</td> <td>102.2</td> </tr> <tr> <td>R3年 6月</td> <td>75,312</td> <td>94.6</td> <td>35,620</td> <td>111.2</td> </tr> <tr> <td>R3年 7月</td> <td>74,685</td> <td>99.5</td> <td>35,419</td> <td>102.2</td> </tr> <tr> <td>R3年 8月</td> <td>78,228</td> <td>114.2</td> <td>34,063</td> <td>108.8</td> </tr> <tr> <td>R3年 9月</td> <td>74,295</td> <td>113.5</td> <td>35,466</td> <td>108.8</td> </tr> </tbody> </table>	暦年	国内出荷頭数		農水省出荷予測 (千頭:%)		千頭	前年比	暦年	出荷予測 頭数 前年比	H29年	16,338	98.3	R3年 10月	1,434 97	H30年	16,429	100.6	R3年 11月	1,447 100	R1年	16,320	99.3	R3年 12月	1,497 98	R2年	16,686	102.2	R4年 1月	1,418 100	R3年 6月	1,346	101.7	R4年 2月	1,327 99	R3年 7月	1,313	96.8	R4年 3月	1,406 93	R3年 8月	1,326	104.4	※令和3年9月22日更新		R3年 9月	1,389	103.1			暦年	輸入数量		財務省:通関実績 チルド数量		ト	前年比	ト	前年比	H29年	932,048	108.2	398,847	112.2	H30年	924,971	99.2	406,752	102.0	R1年	958,963	103.7	407,360	100.1	R2年	891,807	93.0	416,334	102.2	R3年 6月	75,312	94.6	35,620	111.2	R3年 7月	74,685	99.5	35,419	102.2	R3年 8月	78,228	114.2	34,063	108.8	R3年 9月	74,295	113.5	35,466	108.8
	暦年			国内出荷頭数		農水省出荷予測 (千頭:%)																																																																																														
千頭		前年比	暦年	出荷予測 頭数 前年比																																																																																																
H29年	16,338	98.3	R3年 10月	1,434 97																																																																																																
H30年	16,429	100.6	R3年 11月	1,447 100																																																																																																
R1年	16,320	99.3	R3年 12月	1,497 98																																																																																																
R2年	16,686	102.2	R4年 1月	1,418 100																																																																																																
R3年 6月	1,346	101.7	R4年 2月	1,327 99																																																																																																
R3年 7月	1,313	96.8	R4年 3月	1,406 93																																																																																																
R3年 8月	1,326	104.4	※令和3年9月22日更新																																																																																																	
R3年 9月	1,389	103.1																																																																																																		
暦年	輸入数量		財務省:通関実績 チルド数量																																																																																																	
	ト	前年比	ト	前年比																																																																																																
H29年	932,048	108.2	398,847	112.2																																																																																																
H30年	924,971	99.2	406,752	102.0																																																																																																
R1年	958,963	103.7	407,360	100.1																																																																																																
R2年	891,807	93.0	416,334	102.2																																																																																																
R3年 6月	75,312	94.6	35,620	111.2																																																																																																
R3年 7月	74,685	99.5	35,419	102.2																																																																																																
R3年 8月	78,228	114.2	34,063	108.8																																																																																																
R3年 9月	74,295	113.5	35,466	108.8																																																																																																
2.輸入	<p>○ 令和3年9月度の全国の肉豚出荷頭数は1,389千頭(前年比103.1%)となった。 9月の全国地域別出荷頭数を前年同月比で見ると、北海道112.7%、東北110.9%、関東105.5%、北陸甲信越100.7%、東海129.4%、近畿112.2%、中四国106.6%、九州・沖縄105.2%となった。</p> <p>○ 令和3年10月の全国と畜頭数は速報値で1,380千頭(10/29まで集計)で、前年同月比93.1%となっている。稼働日数は昨年より1日少なく、1日当たりの平均と畜頭数は65,695頭(前年実績:67,334頭/日、前年比△1,639頭/日)となっている。</p> <p>○ 農水省食肉鶏卵課の令和3年10月20日付肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は令和3年11月1,447千頭(前年同月比100%)、12月1,497千頭(同98%)翌年1月1,418千頭(同100%)、同2月1,327千頭(同99%)、同3月1,406千頭(同93%)と、今後5か月間合計頭数で前年比97.9%と前年をわずかに下回ると予測している。</p> <p>○ 令和3年9月の輸入通関実績は豚肉全体で74.3千ト(前年同月比113.5%、前月比95.0%)となった。内訳は、チルドが35.5千ト(前年同月比108.8%、前月比104.1%)、フローズンは38.8千ト(同118.8%、同87.9%)で、チルド・フローズンともに前年比を上回った。前年が新型コロナウイルスの感染拡大で、北米からの輸入量が大きく減少したことによる。主な国別では、チルドはカナダ18.5千ト(同114.5%)、米国15.5千ト(前年同月比104.5%)、メキシコ1.4千ト(同90.6%)となり、フローズンはスペイン9.7千ト(同138.4%)、メキシコ7.9千ト(同118.3%)、デンマーク5.5千ト(同127.6%)、米国2.5千ト(同66.4%)、カナダ3.9ト(同162.4%)となった。</p> <p>○ (独)農畜産業振興機構が10月28日に公表した豚肉の需給予測では、10月の輸入量は、チルドが北米の現地価格の高騰により前年をやや下回るものの、フローズンは中国の買い付けが弱まったことで値下がりした欧州産の増加のため、前年をかなり大きく上回り、合計でも前年をやや上回る(前年比103.7%)と予測する。11月もこの傾向は続き、チルドは前年を下回るがフローズンは前年を上回ること、輸入量全体では前年を上回るとの見通しである。このため、9月から11月までの3か月平均では、チルド(前年比98.3%)は前年にわずかに及ばないが、フローズン(同117.0%)の増加で、輸入量全体(前年比108.2%)でも前年を上回ると見込まれる。</p>																																																																																																			
需要	1.家計消費	<p>○ 総務省発表の令和3年8月期家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり豚肉購入数量は1,896g(前年同月103.8%)、支出金額が2,705円(同99.8%)となり、購入量では前年をやや上回ったものの、金額ではわずかに前年を下回った。(※前々年度同月比:購入量116.3%、金額115.8%)</p>																																																																																																		
	2.小売動向 9月概況	<p>○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の9月の販売統計速報によると畜産部門の売上高は1,137億円(前年同月比102.7%、既存店ベース101.2%)と前年同月を上回った。牛肉では焼肉用、豚肉ではスライス・ひき肉が好調との報告がなされている。</p> <p>○ 日本チェーンストア協会が公表した9月販売概況によると、畜産品の売上は872億円(店舗調整後で前年同月比103.2%)で、前年を上回った。牛肉・豚肉・鶏肉・鶏卵ともに荷動きは好調ながら、ハム・ソーセージ類の荷動きの鈍さが報告されている。</p>																																																																																																		
	10月概況	<p>○ 10月は五輪開催のため休日が前倒しとなり祝日がなく、また特筆されるイベント需要もないなか、需要の端境期と重なり、末端の荷動きは終始落ち着いたものとなった。国産物・冷蔵品ではスライス用のバラが好調ながら、前月は好調だったカタロースの荷動は後半に失速し、落ち着いたものとなった。また年度当初から堅調な推移が続いた切り落とし用ウデ・モモの荷動も鈍化したとの報告がなされている。一方、国産物・冷凍品は荷余り感がない締った需給となり、バラ・スソ物を中心とした堅調な荷動となった。一方、輸入品は北米での現地価格の上昇と通関遅れが恒常化する中、チルドは量販店等のベリヤを中心とした引合が強く、フローズンは緊急事態宣言の解除により、これまでの低迷を続けた外食需要が徐々に回復に転じるなか、荷動きは緩やかに良化傾向へと向かっている。</p>																																																																																																		
3.加工肉仕向量	<p>○ 日本ハム・ソーセージ工業協同組合発表の令和3年8月の豚肉加工品仕向量は30.2千ト(前年同月比99.8%)と、ほぼ前年並みとなった。内訳は、国内物5.6千ト(前年同月比96.7%)とやや減少したものの、輸入物24.7千ト(同100.5%)と前年をわずかに上回ったことによる。なお、上記仕向量とは別枠のシーズンドボークは10.4千ト(前年同月比107.6%)と前年よりやや増加した。</p>																																																																																																			
在庫	<p>○ (独)農畜産業振興機構が10月27日に公表した豚肉の需給予測によると令和3年9月末の推定期末在庫量は187.4千ト(前年比88.1%、前月比99.4%)となり、前年を大きく下回った。内訳は、輸入品の在庫が165.5千ト(前年比85.6%、前月比99.9%)、国産品が21.9千ト(前年比111.4%、前月比95.6%)となり、輸入品は前年実績を下回り、国産品は前年実績を上回った。同機構によれば、国産品と輸入品を合わせた今後の期末在庫の推移は、10月が186.5千ト(同91.3%)、11月が185.1千ト(同94.9%)と、前年を下回って推移するものと予測している。</p>																																																																																																			
枝肉相場	1.R3年10月速報値	<p>○ 令和3年10月の東京食肉市場枝肉相場は速報値(10/29時点)で 529円/kg(前年比98.4%)と前年を下回った。10月は落ち着いた荷動きの中、出荷頭数の伸び悩みと輸入品の不安定な入荷状況が恒常化するなか、前半は500円台半ばを中心とした弱保合いの相場展開となった。しかし、後半にかけて出荷頭数が回復するなか、相場は500円台前半まで、緩やかに下落した。</p> <p>この結果、相場は月間平均で前年を下回るとともに、今年5月以来5か月ぶりとなる500円台相場となり、相場は下降傾向となっている。</p>																																																																																																		
	2.予測 R3年11月	<p>○ 農水省食肉鶏卵課の令和3年10月20日付肉豚生産出荷予測の11月出荷予測頭数は1,447千頭(前年同月比100%)と前年並み出荷頭数で、対過去5年平均でも99%とほぼ前年並となっている。底堅い内食需要の継続と外食需要の回復が期待されるなか、出荷頭数の伸び悩みが懸念されるが、この時期は年間で最も国内出荷頭数が増加する時期であり、相場は出荷頭数の回復とともに緩やかに下降することが予測され、弱含みな展開が予測される。</p> <p>なお、出荷頭数や新型コロナウイルスの影響に伴う行政対応等による相場への影響には引き続き注視が必要である。</p> <p><相場予想: 東京市場、税込み></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年9月実績</th> <th>R3年10月速報値</th> <th>R3年11月予測</th> <th>R3年12月予測</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【上物】(前年比)</td> <td>600円(96.5%)</td> <td>529円(98.4%)</td> <td>510円(96.0%)</td> <td>530円(99.1%)</td> </tr> </tbody> </table>		R3年9月実績	R3年10月速報値	R3年11月予測	R3年12月予測	【上物】(前年比)	600円(96.5%)	529円(98.4%)	510円(96.0%)	530円(99.1%)																																																																																								
	R3年9月実績	R3年10月速報値	R3年11月予測	R3年12月予測																																																																																																
【上物】(前年比)	600円(96.5%)	529円(98.4%)	510円(96.0%)	530円(99.1%)																																																																																																
		<p>加工品仕向量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">加工品仕向量</th> <th colspan="2">市況の推移(東京市場)*税込み</th> </tr> <tr> <th>千ト</th> <th>前年比</th> <th>暦年</th> <th>豚枝肉「上物」 円/kg 前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年</td> <td>376.6</td> <td>101.6</td> <td>H29年</td> <td>569 108.6</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>376.6</td> <td>100.0</td> <td>H30年</td> <td>518 91.0</td> </tr> <tr> <td>R1年</td> <td>372.1</td> <td>98.8</td> <td>R1年</td> <td>524 101.2</td> </tr> <tr> <td>R2年</td> <td>376.7</td> <td>101.2</td> <td>R2年</td> <td>561 106.9</td> </tr> <tr> <td>R3年 5月</td> <td>30.5</td> <td>97.6</td> <td>R3年7月</td> <td>635 99.1</td> </tr> <tr> <td>R3年 6月</td> <td>31.7</td> <td>96.1</td> <td>R3年8月</td> <td>623 98.3</td> </tr> <tr> <td>R3年 7月</td> <td>32.7</td> <td>98.0</td> <td>R3年9月</td> <td>600 96.5</td> </tr> <tr> <td>R3年 8月</td> <td>30.2</td> <td>99.8</td> <td>R3年10月速報値</td> <td>529 98.4</td> </tr> </tbody> </table>	暦年	加工品仕向量		市況の推移(東京市場)*税込み		千ト	前年比	暦年	豚枝肉「上物」 円/kg 前年比	H29年	376.6	101.6	H29年	569 108.6	H30年	376.6	100.0	H30年	518 91.0	R1年	372.1	98.8	R1年	524 101.2	R2年	376.7	101.2	R2年	561 106.9	R3年 5月	30.5	97.6	R3年7月	635 99.1	R3年 6月	31.7	96.1	R3年8月	623 98.3	R3年 7月	32.7	98.0	R3年9月	600 96.5	R3年 8月	30.2	99.8	R3年10月速報値	529 98.4																																																	
暦年	加工品仕向量			市況の推移(東京市場)*税込み																																																																																																
	千ト	前年比	暦年	豚枝肉「上物」 円/kg 前年比																																																																																																
H29年	376.6	101.6	H29年	569 108.6																																																																																																
H30年	376.6	100.0	H30年	518 91.0																																																																																																
R1年	372.1	98.8	R1年	524 101.2																																																																																																
R2年	376.7	101.2	R2年	561 106.9																																																																																																
R3年 5月	30.5	97.6	R3年7月	635 99.1																																																																																																
R3年 6月	31.7	96.1	R3年8月	623 98.3																																																																																																
R3年 7月	32.7	98.0	R3年9月	600 96.5																																																																																																
R3年 8月	30.2	99.8	R3年10月速報値	529 98.4																																																																																																